

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたぼっこ・美都①

目標達成計画

作成日： 平成 27年 11月 19日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の避難訓練について、職員会議でマニュアルの読み合わせを行い、イメージできていると思われるが、実際の訓練に至っていない。	マニュアルを基に、1階から2階に避難訓練を実施する。	1階から2階への避難訓練を実施するにあたり、階段を使つての避難と、エレベーターを使つての避難を実施したい。 できる限り全員を対象とし、消防署・美都分遣所へ職員派遣の依頼も検討したい。	1年
2	3	ホームの取り組みや利用者の状況を伝え、参加者から意見やアドバイスをいただいているが、運営推進会議のマンネリ化が懸念される。	会議での意見をサービス向上に活かしていく取り組みを実施する。	会議でいただいた意見が活かされるには、グループホームの中だけで考えるのではなく、外とのつながりを大切にして、資源や人材と連携していくことが必要と考える。そのような取り組みを視野に入れていきたい。	1年
3	12	医療ニーズの高い利用者の方に「できるだけ健康で過ごしていただきたい」と思っているが、難しい現実にも悩まされる。	利用者に対する接し方や声のかけ方を勉強し医療と介護の連携をスムーズにしていく。	まずは、薬について、何に効くのか、副作用は何か、飲まない事による弊害は何かなど事前に学ぶ機会を設ける。 また、利用者の既往歴や、現在の病気について理解する勉強を重ねていきたい。	1年
4					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ひなたぼっこ・美都②

目標達成計画

作成日： 平成 27年 11月 20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	ホームが2階にあることや入居者の方々のADLの低下に伴い、火災時の避難誘導、2階から1階への移動が困難になってきている。	火災時の避難、誘導経路や方法を職員それぞれが想定、確認する。	職員会議や日々のミーティングで、入居者の方ひとりひとりの避難誘導方法について検討する。年2回の火災避難訓練時、実際に避難誘導を実行したい。	1年
2	49	2階のため、階段出入り口やエレベーターホールは職員が鍵で管理している。「外に出たい」と思われた時に自分で外に出ることができない。	外に行きたいと要望された方々への対応を再考する。	外に行きたいと要望される前に、何か支援できる事はないか、職員で気付きや、案を出し合う。実際に実行してみる。	1年
3					
4					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。